

# 時流 自論



たけなか・なみ 48年生まれ。神戸市に本部を置く社会福祉法人「プロップ・ステーション」理事長。

私たちの「プロップ・ステーション」は「チャレンジド(障害者)はもろもろ、すべての人が持つ力を発揮し、支え合って構築するユニバーサル社会」を、障害者支援の連携によって創出していくを目標に、活動を始めています。

「ユニバーサルとバリアフリーは違うんですか?」とよく聞かれます。バリアフリーは「障壁の除去」と言われるように、一人一人の人が社会を構成する一員として活躍できる社会を創出する、というビジョンを持

て、困っている人のためにバリアを取り除きましようという考えです。 それに対してユニバーサルは「バリアを取り除くだけでなく、その人が力を発揮する、つまり社会参加や就業を促すまでを包括した構造改革を行う」という意味を持ちます。

## 福祉観と労働観の転換を



たなければ日本はまたへん、というが、重症心身障害者を支援する活動は、ナミの活動です。

「ユニバーサル社会」を創出するには、「チャレンジド」を支援する「下」(支援活動)を推進し、その費用を税金で保障する制度です。たかひに打たなければならぬか、「この国が、支援者やボランティアの活動が、本意の意図で進まないか」と感じています。

「福祉は、友人が多岐あり、この数年、うつも統合失調症にかかわる経験を多く受けました。そんな友人である青年(大学在学中に知的障害)、最近「ナミとたかひを合せて、自分の精神障害を卑下する気持ちを抑えて立ちあがりたい」というメールをくれました。とてもうれしく、私は彼にこんな返事を出しました。

「福祉は、友人が多岐あり、この数年、うつも統合失調症にかかわる経験を多く受けました。そんな友人である青年(大学在学中に知的障害)、最近「ナミとたかひを合せて、自分の精神障害を卑下する気持ちを抑えて立ちあがりたい」というメールをくれました。とてもうれしく、私は彼にこんな返事を出しました。

「福祉は、友人が多岐あり、この数年、うつも統合失調症にかかわる経験を多く受けました。そんな友人である青年(大学在学中に知的障害)、最近「ナミとたかひを合せて、自分の精神障害を卑下する気持ちを抑えて立ちあがりたい」というメールをくれました。とてもうれしく、私は彼にこんな返事を出しました。

「福祉は、友人が多岐あり、この数年、うつも統合失調症にかかわる経験を多く受けました。そんな友人である青年(大学在学中に知的障害)、最近「ナミとたかひを合せて、自分の精神障害を卑下する気持ちを抑えて立ちあがりたい」というメールをくれました。とてもうれしく、私は彼にこんな返事を出しました。

「福祉は、友人が多岐あり、この数年、うつも統合失調症にかかわる経験を多く受けました。そんな友人である青年(大学在学中に知的障害)、最近「ナミとたかひを合せて、自分の精神障害を卑下する気持ちを抑えて立ちあがりたい」というメールをくれました。とてもうれしく、私は彼にこんな返事を出しました。